


私らしく咲く

ふじのくに
なでしこ宣言企業



子育て経験内装に生かす



子育てとインテリアコーディネーター業を両立している新聞若菜さん
—静岡市駿河区

住み心地を左右する住居のインテリア。新居を検討する人に寄り添い、要望を聞きながらプランを提供するのが静岡営業所の新聞若菜さん(33)の仕事。インテリア業界への憧れを胸に入社して14年目。2歳の娘の子育てに忙しい毎日ながらも、好きな仕事を継続できる喜びを実感しているという。

顧客との打ち合わせは土日が中心。週末は実母の協力を得て、出勤している。出産前は時間を気にせずに働いていたが、今は時間との闘い。特

だが、子どもがいるから気づく視点もある」と新聞さん。共働き世帯向けの動線や収納力が求められる子育て家庭への提案に、自らの経験が生きている。「後輩たちに私の視点を伝えれば、経験が共有できる」と、指導役も積極的に引き受けている。

<第2、4金曜日に掲載。バックナンバーは「こち女」サイトへ>

企業データ

本社	静岡市駿河区
業種	インテリア コーディネート販売
従業員	54人(うち女性42人)

私らしく咲く

ふじのくに
なでしこ宣言企業



女性のアイデア新事業に



自社ブランドバッグ「拵」について意見を交わす三輪桃子さん(右)と武田真美さん
—吉田町

色鮮やかなポリプロピレン製テープを編み込んだ大型トートバッグ「拵」シリーズは、かばんや雑貨などに使われるテープ商品の製造メーカーの同社が売り出した自社ブランド。商品開発の随所に、女性スタッフのアイデアが生かされている。

「捨ててしまうのはもったいない」。テープの生産工程で生じる端切れに、三輪桃子さん(26)と武田真美さん(35)が目をつけた。休憩時間を使

って2人が手編みで作っていたバッグが、自社製品開発を考えていた本橋真也社長(41)の目に留まり、新たな事業展開につながった。

水洗いもできる丈夫さが特徴のバッグは一つ一つ、女性たちが手編みで作っている。雇用形態は正社員やパートな

どさまざま。家庭の事情に応じて、勤務時間や社員登用などにも柔軟に進めている。本橋社長は「男性女性問わず、能力を最大限に生かせる職場環境を整備したい」と話す。

<第2、4金曜日に掲載。バックナンバーは「こち女」サイトへ>

企業データ

本社	吉田町
業種	細幅織物製造、販売
従業員	37人(うち女性26人)